

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	146	公平委員会事務局経費	01	01	一般会計
基本施策	99		02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			11	11	公平委員会費
担当部課名		総務部総務課	101	101	公平委員会事務局経費
作成者氏名	岡部隆次	連絡先 22-9601(内線2312)	01	01	公平委員会事務局経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分の審査	職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分の適正化が図られる。
本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分の審査 公平委員会委員の事務研修 	
根拠法令・要綱等	地方自治法、地方公務員法、伊賀市公平委員会設置条例、伊賀市公平委員会規則等	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.3	0.2
	人件費合計(A)	1,440	2,160	1,440
②支出内訳(千円)	事業費(B)	802	536	488
	委託料	0	0	0
	委員報酬	0	138	108
	その他	802	398	380
合計(A+B)		2,242	2,696	1,928
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	2,242	2,696	1,928
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
公平委員会の開催	回	0	1	1			
公平委員会委員の事務研修	回	4	3	2			

情勢の変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> 職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分事例がなかった。

評価	達成度	2	組織及び運営の合理化、最少の経費で最大の効果を得るという視点から、事例があれば、公平委員会の集中審査を行う。公平委員会委員は、事務研修会へ積極的に参加する。
	効率性	2	